

社会資本総合整備計画 事後評価書													令和07年09月02日	
計画の名称	人と環境にやさしい交通ネットワークの構築													
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	岡山市													
計画の目標	あらゆる人の交通環境を向上させ、人とまちを元気にするため、3つの計画目標を掲げる。 安全で快適な交通ネットワークをつくる 歩いて楽しい都心空間に変える 路上放置自転車をなくす													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		3,104	A	3,094	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0.32	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	公共交通利用者数の増加（新たな施策の実施と利用促進の継続により、市民1人当たりの公共交通利用者数の増加を図る） 公共交通利用者数の増加：市民1人当たりの公共交通利用者数（鉄道＋路面電車＋主要バス路線）を調査する	84回／年・人	回／年・人	91回／年・人
2	都心部の歩行者数の増加（歩いて楽しい都心空間の実現により、都心部の歩行者量の増加を図る） 都市部の歩行者数の増加：都心の歩行者数（休日）を調査する	4703人	人	4968人
3	路上放置自転車台数の減少（都心地区に自転車駐車場を整備し、路上放置自転車の減少を図る） 路上放置自転車台数の減少：都心地区の路上放置自転車台数を調査する	3198台	台	2800台

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指数についてはH30.9月に策定の岡山市総合交通計画の目標値。自転車駐車場の定量的指数については、「自転車先進都市おかやま実行戦略（中間評価）」時（H30.3月策定）の現況値と目標値												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	路面電車岡山駅前広場乗 り入れ	軌道施設、駅前広場、駐車場 ほか	岡山市	■	■	■	■	■	2,505	1.05	-
	A13-002	都市交通	一般	岡山市	間接	岡山電気軌 道(株)	-	-	路面電車岡山駅前広場乗 り入れ	軌道施設ほか	岡山市	■	■	■	■	■	155	1.05	-
	A13-003	都市交通	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	桃太郎線LRT化	整備計画（併用軌道区間等） の作成	岡山市	■	■				50		-
	A13-004	都市交通	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	路面電車ネットワーク化	道路改良	岡山市		■	■	■	■	15		-
	A13-005	都市交通	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	乗り継ぎ拠点整備	バス停、待合施設、デジタル サイネージ	岡山市		■	■	■	■	21		-
	A13-006	都市交通	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	庭瀬駅北口駅前広場整備	駅前広場	岡山市			■	■	■	240	2.07	-
	A13-007	都市交通	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	高島駅南口駅前広場整備	駅前広場	岡山市			■	■	■	76	1.09	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-008	都市交通	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	上道駅自転車駐車場、エ レベーター	自転車駐車場、エレベーター	岡山市					■	20	0.08	-	
		自転車駐車場及びエレベーター整備は、利用者に対する利便性及び安全性の向上のための事業であり、費用便益分析による評価は必ずしもなじまない。																		
											小計						3,082			
住環境整備事業	A16-009	住宅	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	バリアフリー基本構想策 定	バリアフリー基本構想策定	岡山市	■	■				12		-	
											小計						12			
											合計						3,094			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市交通	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	路面電車ネットワーク化	公共交通の事業運営スキーム の検討	岡山市					■	10	-	
		基幹事業の着実な推進と効果的な事業の実施による公共交通利用の促進が図られる。																	
											小計						10		
											合計						10		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

岡山市において当該社会資本整備計画関係課により事後評価を実施。

事後評価の実施時期

令和7年9月

公表の方法

岡山市HPに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

事業完了地区は一部であり、大部分の地区は事業途中段階であるため、効果発現は限定的である。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

事業完了地区は一部であり、大部分の地区は事業途中段階であるため、効果発現は限定的である。

○ 特記事項（今後の方針等）

後継の整備計画「コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり」（R6～R10）にて、目標達成に向けて事業を進め、あらゆる人の交通環境向上、人とまちの活性化を図る。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	91回 / 年・人	新型コロナウイルスの影響により公共交通利用者が大きく減少し、回復傾向にはあるが、現在も利用者数は戻り切っていない状態である。
	最 終 実績値	80回 / 年・人	
2			
	最 終 目標値	4968人	
	最 終 実績値	4947人	
3			
	最 終 目標値	2800台	啓発指導の強化により、路上放置車両は大きく減少した。
	最 終 実績値	1749台	